

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	商工課長 田邊 幹浩	
市民-16	実施事業	伝統鎌倉彫振興事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 商工課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	商工業振興の充実

1 事業の目的

対象	伝統鎌倉彫事業協同組合
意図	鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。
効果	伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。 伝統工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	24,291	4,435	当初予算(千円)	4,609		
	国県支出金	723		国県支出金			
	地方債	15,700		地方債			
	その他	616	925	その他	1,030		
	一般財源	7,252	3,510	一般財源	3,579		
	人員配置数	0.3	0.3	人員配置数	0.3		
事業経費運営	人件費(千円)	2,634	2,395	人件費(千円)	2,353		
	総事業費(千円)	26,925	6,830	総事業費(千円)	6,962		
	市民1人当りの経費(円)	153	39	市民1人当りの経費(円)	39		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	鎌倉彫産業の振興を図るため、鎌倉彫振興事業所の維持管理を行うとともに、伝統鎌倉彫事業協同組合が実施する事業に要する経費の一部を助成する。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	鎌倉彫体験事業のさらなる充実など、鎌倉彫に触れる機会の増加を図る。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	伝統鎌倉彫事業協同組合が実施した二時間体験教室、小学校卒業制作、子ども向け鎌倉彫Webサイト作成等に要する支援を行い、鎌倉彫に触れる機会の増加を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、鎌倉彫体験事業のさらなる充実など、鎌倉彫に触れる機会の増加を図る。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	伝統的工芸品の指定状況							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	箱根町	
他市実績	鎌倉彫	無	無	無	小田原漆器	無	箱根寄木細工	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	神奈川県内で国に指定されてる伝統的工芸品は3品目のみであり、その高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図ることは、市の責務である。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉彫出荷額					単位	千円	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
本市で唯一の伝統工芸品産業を維持するため。	目標値	630,000	630,000	630,000	630,000	630,000	630,000			
	実績値	600,000	564,000	470,000	420,000	430,000				
	達成率	95.2%	89.5%	74.6%	66.7%	68.3%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	伝統的工芸品としての技術の伝承及び地場産業振興を図るための支援の結果として、鎌倉彫出荷額を維持する。達成率は減少の傾向にあるが、引き続き、伝統鎌倉彫事業協同組合の行う事業を支援することで、鎌倉彫産業の振興を図る。
-----------------------	--